



慶應義塾大学ビジネス・スクール

音楽の価格

5

音楽は太古、人の集団を結束させる手段であった（岩田誠）^[1]

録音は音楽を包囲することになり、その使用は、ただ複製の消費に過ぎない（J. アタリ）^[2]

多様な音楽を聴いてきたという経験がその人の教養となる（P. バラカン）^[3]

東日本大震災直後、とても音楽を聴く気にはなれなかった（小西康陽）^[4]

10

1. はじめに

2016年4月に日本で Brian Wilson のコンサートが行われた。このコンサートは同氏が創設メンバーとして参加し、作曲、演奏で活躍した The Beach Boys のアルバム Pet Sounds 発売 50 周年を記念する世界コンサート・ツアーの一環であった。そこでは Pet Sounds の再現演奏の他、同氏が Beach Boys のために作曲しヒットさせた曲を演奏することが予定された。Brian Wilson 氏の作曲、編曲は多数にのぼるため、このコンサートにおいて Pet Sounds と他の楽曲をどう組み合わせるかは難しい判断であった。コンサートの楽曲の構成とチケット料金設定によって、消費者の購入行動が異なり、売上額も大きく違ってくるはずであった。このコンサートは世界規模で行われるものであり、関係者も多く、多額の費用がかかるため、売上額、利益額の確保は重要な課題であった。また、日本ではそのコンサートを一手に引き受ける代理店、音楽事務所が介在するが、その意思決定によってコンサート価格も変わってくる可能性があった。

15

20

^[1] 岩田誠「音楽とは何だろう」講演、慶應義塾大学大学院経営管理研究科、グローバル・ビジネス・フォーラムによる日本のグランド・デザイン策定を行う融合型実践教育、Grand Design by Japan, 2014 年度、フォーラム (2), 2014 年 11 月 23 日

25

^[2] J. アタリ『ノイズー音楽 / 貨幣 / 雑音』1985, pp.140 - 141 抜粋

^[3] 「伊集院光とラジオとゲストと」TBS ラジオ, 2017 年 1 月 9 日放送

^[4] 「小西康陽これからの人生, 第 13 回」NHK-FM, 2011 年 4 月 27 日放送 <http://www.nicovideo.jp/watch/sm14475603>

慶應義塾大学大学院経営管理研究科の姉川知史が授業用に作成した資料である。2016 年 9 月 1 日, 2017 年 4 月 27 日なお、資料として使用したホームページは事例作成時の 2016 年 9 月 1 日から 11 月 1 日に行った。事例改定時の 2017 年 4 月 27 日に再度検索したところ、一部、アクセスできなくなっているもの、内容が改変されたものがある。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 姉川知史 (2017 年 4 月作成)